

要望書

(全国雪対策連絡協議会)

積雪寒冷特別地域における諸対策の推進に関する要望書

国土の約6割、人口の約2割を占める積雪寒冷地域は、永年にわたる雪対策の推進により、住民生活と社会・経済活動は格段に向上しましたが、昨今の自然条件、社会・経済状況等の著しい変化により、雪対策は以下のような深刻な課題に直面しております。

- ① 気候変動による、記録的な局所的・集中的降雪や、異常豪雪の多発と異常少雪の発生。
- ② 急速な少子・高齢化、過疎化による、住民の自助による雪への対応力の低下。
- ③ 住民の連帯・協働体制の弱体化、住民要望の多様化による、行政依存・行政負担の増大。
- ④ 建設投資の減少、高齢化・人手不足による、雪対策の担い手の経営環境の悪化・弱体化。
- ⑤ 増大していく行政負担に対し、厳しい財政状況にある地方自治体の対応の限界。

全国雪対策連絡協議会の201の市町村は、総力を結集して関係機関と連携・協力して、雪対策に取り組んでおりますが、国の御理解と御支援が不可欠であり、以下の事項を要望致します。

1. 雪国の安全・安心の確保のための予算の確保

公共事業関係費の総額および継続的な確保

「防災・減災、国土強靱化のための5カ年加速化対策」に必要な予算・財源の確保

2. 雪害対策の推進

国土強靱化地域計画に基づく重点的事業の実施

異常豪雪に対する緊急的な安全確保のための施策の推進

雪崩対策施設や砂防堰堤の整備と危険箇所所周知

災害復旧事業の推進（雪崩・融雪による災害、早期復旧体制確立、被災地への支援）

3. 豪雪地帯対策特別措置法による総合的な対策の推進

雪害の除去など生活水準の向上の改善に係わる施策の着実な推進

豪雪地帯対策基本計画の実施に必要な財政上の支援

豪雪地帯安全確保緊急対策交付金について、支援期間の延長など必要な制度拡充と予算の確保

4. 冬期の道路交通確保のための事業の推進

令和5年度からの次期「積雪寒冷特別地域道路交通確保五箇年計画」の早期策定

「防災・減災、国土強靱化5カ年加速化対策」も活用した、基幹的な道路ネットワークの強化

（高速道路や主要国道の4車線化、付加車線・登坂車線の設置、除雪・防雪・凍雪害防止事業等）

5. 雪に強い地域づくり、街づくり、住まいづくりの推進

道路、河川、下水道等が一体となった雪に強い地域づくり、コンパクトな街づくりに対する支援

公共交通機関の利便性向上への支援

雪国の特性に応じた克雪住宅の普及促進、支援（融雪・落雪屋根、命綱固定金具設置）

雪により倒壊した空き家及び倒壊の恐れのある空き家の除去並びに空き家の除雪に対する支援

高齢者、身体障害者のためのバリアフリーの推進

6. 連携・協力、共助による雪対策事業の推進

国・県・市町村等が広域的に連携した協力・支援体制確保（情報共有、相互協力、雪堆積場の確保）

国の支援体制の充実・強化（人員の確保、資機材の強化）

市町村、住民、ボランティア等地域コミュニティによる雪対策の支援（小型除雪機械の導入）

高齢者世帯の除排雪作業への財政的支援の拡充

7. 除排雪等の雪対策への支援の拡大

豪雪地帯への地方交付税算定時の雪寒補正の強化

除排雪作業への財政的支援の拡大（臨時特例措置等による財政支援、除雪機械整備の補助枠拡大）

生活道路の除排雪に係る経費への財政的支援